
12月25日

Dandy

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

12月25日

【Nコード】

N7129P

【作者名】

Dandy

【あらすじ】

クリスマス企画です。むなしいです

(前書き)

四の五の言いません。どうぞ
↑

——ジングルベル、ジングルベル、鈴が鳴る♪今日は楽しい
……

「……年末調整か」

白皇学院正門。ゲートに設置された拡声器から、彼にとっては耳障りなクリスマスソングが流れている。きれいに、クリスマス風に飾り付けされた門をうらめしく見る彼の名は、薫京ノ助。言わずと知れた白皇学院の教師だ。独身。恋人募集中。年末の仕事を片付けに、クリスマスなど無関係に出勤。

「なにがクリスマスだ！クリスマスなんて死んでしまええ！！」

悲しい男の叫び。それを間近で聞いていたのは、サンタのコスプレをしてビラを配る瀬川泉と朝風理沙。泉はニコニコして言う。

「理沙ちゃん、あれはなんなの？」

「ふつ。言わずと知れた『クリスマスを恨む愚かな男の叫び』だ。略して『クリスの叫び』」

「ム・クみたいだねー」

「クリスマスを恨むことで、己のダメさを責任転嫁してクリスマスがあることが悪いのだと、己を慰める愚かな……」

「おい！聞こえてるぞ、そこっ！」

堂々と罵詈雑言を浴びせる2人に気付いた薫先生。

「先生、メリークリスマス」

「……おお。で、お前らなにをコスプレまでしてこんなところにいるんだ？もう冬休みだろ？」

「なにを言っんですか。今日は、白皇学院のクリスマスパーティーじゃないですか」

「え？そうなのか？」

「にははー。そうですよ、先生。男女が一同に集い、聖なる夜を過ごすことで、結ばれるかもしれない……」

「要はコンパだな？」

「まあそうですね。合同コンプレックス」

「コンパニオンだろ？」

「違いますよ、皆、クリスマスに恨みを持つ輩ばかりなので、サンタの悪口を言いながら、ノンアルコールシャンパンでサンタの顔を狙い撃ちするんです」

「……大丈夫か？それ」

理沙がさらりと言つてのけるのを、薫先生は汗を滴ながら聞く。
理沙は、あることを思い出した。

「そうだ。実は、シャンパンでぶち抜かれるサンタ役をハヤ太君に頼んだら、拒否されたので、薫先生、ぜひお願いしたいのですが？」

「はあ！？なんで俺！？」

「にははー。どうせ先生、クリスマスは1人ですよね？」

「我らと一緒に、楽しいクリスマスを……」

「バ……バカにするなああー！！ちくしょー！！」

ドドドド……泣きべそをかきながら、薫先生は街へと消えていった。

「理沙ちゃん、薫先生、なにしに来たんだろうね？」

「さあな……」

なぜか街へと来てしまった薫先生。悲しさを紛らわせるために来たはずが、どこもかしこもクリスマスフェア。逆に辛い。

「ちくしょー!!」

「うるさい!!」

「ぐっ!!」

けりっ！ 叫んだと同時に、背中に蹴りが入る。5mほど吹っ飛び、よろよろ立ち上がった。

「な、なにしゃがる……」

「こっちのセリフよ！通りのど真ん中で、みつともないわね」

「ゆ、雪路……」

薫先生は目を丸くした。そこには、同じ白皇学院の教師、桂雪路の姿が。

「雪路、お前、なんでこんなところに……」

「うるさいわね。ヒナに、今日くらいは、パーツと飲み明かそうって誘ったら、その前に貸した金返せって怒鳴られたのよ」

「……相変わらず厳しいな」

薫先生は、ヒナギクの徹底主義に背筋が張る思いがした。クリスマスなのに、しっかりしているなど。薫先生は1人でうなづいてみると、雪路は言った。

「そうだわ。あんた、どうせ暇でしょ！？ちょっと、飲みに行くわよ！」

「い、今から！？まだ3時だぞ！？」

「うるさい！こんな日だから……あんたと飲むのよ」

「雪路……」

薫先生はちょっとホロリときてしまった。クリスマスという特別な日、こんな自分と一緒に過ごしてくれるとは……鼻先が赤くなる。

（これは……これはもしかしたら、もしかするかもしれない……。ここは、クリスマスらしく、ちょっと奮発して、おしゃれなレストランに行くしかない！！）

—— 30分後。 2人がいたのは、ただのおでんの屋台。薫先生は、イメージ違いに困惑する。

「あの、桂さん？なぜにおでんの屋台？」

「ここのおでん、絶品なのよ！体も暖まるし」

「あ………そっ」

薫先生は戸惑いながらも屋台に落ち着いた。もう、どこに行くのが問題ではない。誰といるかが問題なのだから。ドキドキドキ……… いつも一緒に飲むことが多いのに、クリスマスだからか、薫先生の鼓動が高鳴る。顔色の変化に、雪路は気付く。

「どうしたのよ。気分でも悪いの？」

「そんなことないけど……ちょっとな」

薫先生はしみじみしながら、話を始めた。

「クリスマスって……モテない男をおとしめるためのもんだと思ってたけど、違うんだ。特別な日だからこそ、自分にとって誰が特別か……思い出させてくれるものだ……。雪路……俺は……」

「ぶつはあーっ！オヤジー！熱燗追加ー！あと、こんにやくとがんもと……適当に！」

「……」

薫先生、一世一代の名セリフを雪路の酒の臭いで吹き飛ばす。もうすでに酔っぱらいモードだ。

「おい！雪路！なに酔っぱらってんだよー！」

「は！？なによ！」

「だから、クリスマスだったのにいつもと変わらず酔っぱらって……」

「クリスマス？なによ、それ？今日クリスマスなの？」

「……今までなんだと思ってたんだよ！！12月25日はクリスマス以外あり得ないだろー！！今までお前も散々、『今日』がどうのこ

うのって……」

薫先生は怒り混じりに雪路に言うが、雪路はけろっとしながら言
った。

「12月に限らず、25日は給料日じゃない？だから、飲んで飲ん
で飲みまくるわよー!!」

「……あ、そう」

結局、クリスマスでも、何も変わらない関係であつた……

みなさんは、クリスマスをお過ごしでしょうか？または、
過ごすでしょうか？クリスマスだからこそ、誰かに感謝してみるの
もいいのではないでしょうか

メリー クリスマス

（後書き）

なんか、バレンタインに似た感じですね。Dandyです

常々、薫先生をメインに作品を作りたいなと思ってましたが、まあ、すぐ書けました。30分くらいです。乱雑なのはいつもですけど

日本で生まれたクリスマスソングもありますが、クリスマスならやっぱり海外。ケーキだけ食べてクリスマスという日本人に、本気のクリスマスをごす外国人の作るクリスマスソングを越えられるわけないです

マ・イア・キャ・ーとか良いですね。ま、別に、好んで聴きたくはないけど

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7129p/>

12月25日

2010年12月31日06時01分発行